

第1回あづみのパークコミュニティ会議概要

- 1 目 時 平成27年3月11日午後1時30分から午後3時30分まで
- 2 会 場 安曇野市役所 穂高支所 第3会議室
- 3 出席者 あづみ野穂高温泉旅館組合 組合長 辻谷洋一、組合員（山荘ポケット）野田芳弘、
安曇野ペンション協議会 理事長 薄井満介、理事（クラーレット）山田第司、
理事（遊人）岡本亘、理事（メープル）土屋雅則、
安曇野案内人倶楽部 代表 等々力秀和、
(株)ほりでーゆー代表取締役 太田謙、
安曇野市観光協会 営業部長 後藤憲二、
穂高地域 牧区区長 小林直美、
国営アルプスあづみの公園事務所 事務所長 望月一彦、建設専門官 小菅浩
調査設計課長 奈良憲孝、
国営アルプスあづみの公園管理センター 管理センター長 緒方京一、
企画課長補佐 合田健太郎、
安曇野建設事務所 所長 下里巖、公園下水道課担当係長 平林茂、
長野県烏川溪谷緑地 環境管理事務所 所長 佐々木俊之
安曇野市 農林部農政課 主任 兼井聖太、商工観光部観光交流促進課 主査 丸山一良、教育
部文化課係長 山田真一、都市建設部 部長 飯森正敏、都市建設部都市計画課 課
長 細萱雅男、都市建設部都市計画課 課長補佐 大月力三、都市建設部都市計画課
主査 内田日出夫
- 4 会議概要 作成年月日 平成27年3月20日

協議事項等

I. 会議の概要

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 設立協議事項
 - (1)経過報告
 - (2)あづみのコミュニティ会議規約（案）
 - (3)役員選任
- 5 会議事項
 - (1) 会長あいさつ
 - (2) 会議の進め方について
 - (3) 国営アルプスあづみの公園からの情報提供
 - (4) 県営烏川溪谷緑地からの情報提供
 - (5) 市制施行10周年記念事業について
 - (6) その他情報提供
 - (7) 意見交換

(8) その他

6 閉会

II 議事の概要

1 開会

安曇野市 都市建設部 細萱都市計画課長

2 あいさつ

望月国営アルプスあづみの公園事務所長

どうも皆さん、こんにちは。只今、紹介いただきました国土交通省の国営アルプスあづみの公園事務所の事務所長をしております望月でございます。今日はあづみのパークコミュニティ会議ということで、年度末の大変お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。また、このような場を用意していただいた安曇野市の都市計画課の皆さん、どうもありがとうございます。この会の事務局は安曇野市にあるわけですが、私共公園事務所もこの会議の設立に深く関わってきております。そういった立場で一言ご挨拶を申し上げたいと思っております。まずは、私共が日ごろ事業を行っております国営アルプスあづみの公園の整備並びに運営管理につきまして、皆さんそれぞれ様々な立場でご協力いただきましてありがとうございます。この場をお借りしてまずは御礼申し上げたいと思っております。その公園事業でございますけれども順調に整備が進んでおりまして、今年も事業を進めて平成28年度の早いうちに、具体的な時期は申し上げられずに恐縮ですが、早い時期には全面開園ということで、そのような時期を迎えているところでございます。国営公園の役割といたしまして、県外から多くのお客様に来ていただき、それによって地域を活性化させたいということで、いろんな方策を考えながら整備を進めているところでございます。それに当たっては安曇野の自然文化、様々な良いところをどのように引き出して活かして外の方々に知っていただくか、その為には公園としてどのようなことができるのか、そのような事を考えながら整備をして参りました。整備という仕事については平成27年度に整備は終わるということですが、大事なのは作った後にどう活かしていくかだと思います。作った器の中で、国営公園という大きな公園でありますので、それ相当の予算をかけて毎年運営していく為の組織が未来永劫ずっと残っていくということでもあります。その運営の中で、やはり地元の皆様方が望む地元の魅力をふんだんに引き出した公園の運営を充実させていきたいと思っております。そうしたことを見据えながら仕事をしているわけでございますけれども、都市計画課の協力をいただき、一昨年から本日の会議の前段に当たるような意見交換の場、どちらかというと意見交換と申しあげても、その事業の中身や進捗状況、やっている内容等を紹介するような性格が強かったですが、そういった会議場を何度か設けていただきました。その中で昨日、新聞にも載りましたが、安曇野案内人倶楽部とのコラボレートが出来て、「安曇野クラフトゲート匠の森」が4月に国営公園内で講座として開設されるということになっております。私共からもいろんな情報提供をさせていただいて、逆に日頃からいろいろなことを考えている皆さんと意見交換させていただいて、意見交換の場を通じて成就した具体的な事例ということになります。それ以外にもこの地域の自然・歴史・文化そういったことに纏わる資源にスポットを当てて活動をする等、誘客の為にどう活かしていこうかということの日頃から考えてアイデアをお持ちになっている方が多くいらっしゃるということも、会議やそれ以外の場での意見交換を通じて感じてきた次第でございます。そうした中で今日のこの会議の目的ということでございますが、皆様方の目

指している方向、私共もそうでございますが、安曇野の活性化に繋がるように取り組みができるのか。こういった方向を皆さんが向いているのは間違いないと思います。そういった中で皆様方が日頃から取り組んでおられる、あるいはこんなことができたら良い、あんなことができたら良い、その為にはこんなことがネックになっているというようなことがあったならば、そういったことを1つのテーブルに載せて情報として共有させて、お互いにカバーし合えるところはカバーして、新しい地域の為の何かしらの取り組みが出来たら良いと思っている次第でございます。「あづみのパークコミュニティ会議」がそのような場として機能していけば良いと思ひまして、立ち上げをしていただいたというような次第でございます。私共、まずは会議で皆様方からいろいろ提供される情報を踏まえて公園としてどのような協力ができるかという観点からお話を伺いたいと思っておりますし、実際に取り組めることは公園として取り組んでいこうと考えております。行きつく先は公園の中で何かをやるということだけではなくて、公園以外の安曇野市全体の「ここが良い」「あそこが良い」そういったフィールドにも展開をして、地域に来る方に紹介をさせていただいて回遊性を上げ地域を活性化させる。このようなことまで一緒になって取り組んでいけたらと思っております。そういった意味で連携の輪を、今日お越しの皆様だけではなくて、アイデアをお持ちの方を紹介いただくとか、そういった意味でも連携を広げていくためのきっかけとなるそういった場としても期待をしているというところでございます。地域自ら磨いて育てて、そしてその良さを情報として発信していく、まさに地方創世ということでございます。国交省が行っている取り組みも地方創世の一環、国営公園の役割の1つとして大きなものがあると思っております。そういったことにも繋がることだと我々は考えております。是非、今申し上げたような会議の趣旨についてご理解をいただいてご協力を賜って、そしてこの会議が安曇野の一層の活性化に繋がることを祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

下里安曇野建設事務所長

皆さんこんにちは。安曇野建設事務所長の下里巖と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本日お集まりの皆さんには日頃から県の建設行政に対しまして、ご理解ご協力いただきまして、この場を借りて感謝を申し上げます。私共が管理します烏川溪谷緑地は国営公園に隣接しておりまして、施設整備は園路などに留め、自然と触れ合うことを目的に平成14年に開園しております。開園以来、多くの地域の方や観光客の方、地元の学校の学習の場ということで利用されているところでございます。また、自然学習会であります「からすの学校」を開催する等、この公園の特色を活かした取り組みを行っております。さらに、市民との協同で維持管理を行っているところでございます。このような中、後程ご説明申し上げます現在、場所を限定して利用をさせていただいているバーベキューにつきましては、ごみの放置などマナー違反による環境への影響があり、4月から禁止させていただきます。バーベキューにつきましては費用負担はありますが、周辺の設備の整った場所で行っていただきたいと思ひます。この公園は規模や施設等は国営公園には及びませんが気軽に自然に親しんでいただく公園として、皆さんにご利用いただきたいと考えているところでございます。この会議を通じまして地域の皆様と情報共有等を行い、地域の振興に繋がればと考えているところでございますので、よろしくお願いいたします。

3 自己紹介

(出席者より自己紹介)

4 設立協議事項

(1) 経過報告

安曇野市 都市建設部 細萱都市計画課長より

経過報告ということで本会議の設立に至った経過をご報告させていただきます。先ほどのご挨拶の中でも触れられた面もごさいますが説明をさせていただきます。市内主要観光地の観光客数につきましては平成23年の「おひさま」効果をピークとしまして、減少しているデータが出ておりますが、碌山美術館から大王わさび農場は年間100万人を超える来客数は変わらないという結果でございました。これをいかに西山山麓への誘客に発展させるかをポイントに、平成25年5月に市の「国営公園対策室」が事務局となりました。今は、都市計画課が事務局となっております。「国営アルプスあづみの公園の利用増進」について、国営公園事務所公園管理センターの皆さんや、市の観光関係者とともに意見交換を行いました。次に、同年9月には「国営鳥川溪谷緑地の利用増進」も含めまして、安曇野建設事務所公園下水道課の皆さんとともに意見交換を行いました。また、同年12月に現地見学会や国営公園と県営緑地の連携等について意見交換を行いました。この経過を踏まえまして、昨年11月には市から「地域連携協議会」、国営公園事務所から「安曇野コミュニティ会議」として、情報交換の場などの設置について提案があり、意見交換を行いました。そこで今回、関係する皆さんと協議をする中で、「あづみのパークコミュニティ会議」の名称で会議組織を設立しました。会議の目的であります、地域の活性化の為の情報提供や、両公園との連携による事業などについての意見交換を行い、関係する皆様とのコミュニティを図っていくこととなりました。こういったことが概略と経過になっておりますが、捕捉で国営公園の奈良設計課長さんお願いします。

国営公園事務所 奈良調査設計課長より

捕捉で説明させていただきます。公園事務所の方としましては、市民の方と意見を交換していく中で、情報交換の場所がないという声を多数いただいております、情報交換を通じたコミュニティの形成が地域の活性化にとって重要ではないかということで認識をしているところです。昨年11月の意見交換会の中で、先ずは両公園を舞台として情報交換をして徐々にコミュニティを市内全域に広げていったらどうかというようなご意見を賜りまして、とてもありがたいご提案だということで継続していったらと思うところでございます。

(2) あづみのコミュニティ会議規約（案）

事務局朗読

(3) 役員選任

規約に基づき事務局案により下記のとおり決定

会 長 : あづみの穂高温泉旅館組合長 辻谷洋一氏

副会長 : 安曇野ペンション協議会理事長 薄井満介氏

5 会議事項

(1) 会長あいさつ

会長より就任のあいさつ

(2) 会議の進め方について

資料2に基づき事務局が説明

(3) 国営アルプスあづみの公園からの情報提供

○公園事務所奈良調査設計課長より堀金穂高地区里山文化ゾーンの整備内容について新しく作成されたパンフレット（別紙資料）に基づき説明。

○公園管理センターの緒方所長と合田補佐から資料に基づき下記の説明。

①平成27年度のイベントの予定・・・詳細別紙

②秋に予定の「コスモスの花フェスタ」での連携案・・・詳細別紙

・開催期間 9月19日（土）～10月18日（日）

・シルバーウィークでの家族向けイベント、山岳をテーマにしたイベントを予定

・地域の農産物等を扱う収穫祭等も展開する

③公園財団が指定管理している国内公園での安曇野市の観光情報を発信することを提案

④相互のイベント、キャンペーン等の情報共有のためのメーリングリスト作成の提案

(4) 県営烏川溪谷緑地からの情報提供

○安曇野建設事務所 公園下水道課平林係長より、バーベキューの全面的な禁止についての説明。

利用者のマナー違反が多いことや残飯が野生動物に悪影響を及ぼすことからバーベキューを全面的に禁止する（施行日4月17日～）。

○平成27年度烏川溪谷緑地で予定しているイベント計画案（別紙）を佐々木所長が説明

「からすの学校」は募集人員が25～30名と少ないが人気のイベントである。

「オオルリ観察会」「カタクリ観察会」は春先に開催する予定であり、集客力のあるイベントである。

緑地外の古道を歩くイベントや冬場のスノーシューハイクも行う予定。

(5) 市制施行10周年記念事業について

安曇野市細萱都市計画課長より資料に基づき平成27年度に予定している市制10周年記念事業を説明。

(6) その他情報提供

安曇野案内人倶楽部の等々力代表が下記のイベントを紹介

①国営公園内で「やまこの学校」の開校式が4月4日に行われる。

②4月26日に国営公園及び周辺で半日コースのウォーキングを行う。

③5月26日に堀金で「枝豆フェスタ」（子供たちが枝豆を植えて収穫するイベント）を行う

④6月13日にあやめ祭りの前夜祭でニジマスカップ（カヌー競技）が行われる。

⑤10月17・18日に穂高学習交流センター「みらい」で「さんぽ市」（個性溢れるクラフト作品を中心にした手しごと交流マーケット）を行う。

⑥10月31日から11月3日にかけて300人規模で「ふるさと再発見リレーウォーク」を行う。

⑦安曇野案内人倶楽部で作成した街歩きのためのガイドマップが出来上がった。一部100円で販売している。（別紙チラシ）

(7) 意見交換

○チラシ配布について

・国営公園管理センターで作成した年間イベントチラシを各施設にラミネート加工して配布する予定。

（国営公園管理センター緒方センター長）

- ・このチラシはお客さんが見る冊子に入れることにより次のイベントの告知に利用できる。

(辻谷会長)

○鳥川溪谷緑地周辺のウォーキングについて

- ・昨年クラブツーリズムが鳥川溪谷緑地をメインとするウォーキングツアーを行い、関東圏からバス8台で約600名が訪れた。鳥川溪谷緑地周辺はウォーキングイベントを行う場所として最適であり、地域に人を呼び込むための資源といえる。

(佐々木鳥川溪谷緑地環境管理事務所長)

○熊の出没対策について

- ・国営公園周辺に出没するクマの対策としては、公園内の下刈りをして見通しをよくしたり、餌となる食べ物を放置しないことをしている。また檻を設置し、捕獲したものには発信機を取り付け自然に戻す取り組みを行っている。今後も熊の発見情報は市と共有していきたい。(国営公園事務所 奈良課長)
- ・県営鳥川溪谷緑地においては野生動物や自然環境等への配慮も考慮しバーベキュー禁止を27年度から予定している。

(安曇野建設事務所 下里所長)

○延命水について

- ・近隣の松川村が全国的に長寿日本一で話題となっている。鳥川溪谷緑地の「延命水」をPRして誘客につなげられないか。

(安曇野案内人倶楽部 等々力代表)

○メーリングリスト及び県外公園での情報発信について

- ・メーリングリスト作成により国営公園のイベントを市内宿泊施設と情報共有する提案は、具体的でよいと思う。また、県外への情報発信には、公園財団のつながりを利用させていただくことも考えられる。

(安曇野市 飯森都市建設部長)

- ・東京の昭和記念公園ではイベント、お祭りを実施しており、この中で安曇野市ブース設置といったことも考えられ、そこでチラシ配布も可能。

(国営公園管理センター 緒方センター長)

※メーリングリストは4月から運用できるよう事務局で作成することとなる。

(8) その他

次回は6月開催予定とする。

6 閉会

薄井副会長により閉会